

## 会 議 録

□全部記録    ■要点記録

<b>1</b>	<b>会議名</b> 平成29年度第1回姫路市環境審議会地球温暖化対策実行計画委員会
<b>2</b>	<b>開催日時</b> 平成29年5月19日（金曜日）11時10分～12時00分
<b>3</b>	<b>開催場所</b> 姫路市防災センター5階 災害対策本部会議室
<b>4</b>	<b>出席者又は欠席者名</b> （敬称略） （出席者）家永善文、浦上文男、通山由美、中瀬勲、山村充、横内恵 （欠席者）大野幸一、小河晶子、竹中一成、中澤卓生、吉田裕康 （事務局）環境局長、環境政策室長、環境政策室3名、委託業者2名
<b>5</b>	<b>傍聴の可否及び傍聴人数</b> 傍聴可、傍聴人1名
<b>6</b>	<b>議題又は案件及び結論等</b> 姫路市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の改定について
<b>7</b>	<b>会議の記録</b> 詳細は別紙参照

1 審議事項

姫路市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の改定について

2 会議の記録

（1）資料1

「資料1 改定作業スケジュール」事務局説明

質疑応答：特に無し

（2）資料2～4

「資料2 国マニュアルと現行計画の記載内容を踏まえた改定の方向性」

「資料3 温室効果ガス排出量の算定方法の見直しについて」

「資料4-1 現行計画の地球温暖化対策施策」

「資料4-2 新規・拡充として考えられる主な施策」 事務局説明

質疑応答

委員長：2030年度に2013年度比で26%削減という国の目標には、排出量取引による削減分も含まれているのか。

事務局：国によると、二国間クレジット制度（JCM）による削減分は26%の内数には含まれていないが、今後目標の達成状況を見る際には適切にカウントしていくことになっている。また、京都メカニズム（共同実施（JI）、クリーン開発メカニズム（CDM）、排出量取引）については、京都議定書で認められていた制度であり、地球温暖化対策計画では考慮しない。

委員長：兵庫県では、国の目標に上積みして26.5%を目標としているが、何を根拠としているのか。

事務局：兵庫県は削減ポテンシャルを積み上げて削減目標を設定している。内訳としては、国の計画に基づく削減分が16.2%、県の独自施策による削減分が3.9%、電力排出係数の低下による削減分が6.4%となっている。

委員長：姫路市においても、姫路市独自の特色ある施策を打ち出してほしい。

委員：まず一つ目として、移動排出源としての自動車からのCO2排出量をどのように扱うかについて議論してほしい。

二つ目として、エアコンについて電気エアコンとガスエアコンのどちらが省エネになるかの議論があるが、国の動向等を把握しておいてほしい。

三つ目として、太陽光発電については、県の「太陽光発電施設等と地域環境との調和に関する条例」が間もなく施行される予定となっている。太陽光発電の導入促進にあたり、適正に太陽光発電施設を設置すること

は良いと思うが、ため池などの自然をつぶして設置することは問題であり、姫路市として今後どのように進めていくか検討してほしい。

その他の取組として、生物多様性に関して姫路市では県、市、町のみならず、民間企業も積極的に取り組んでいる。計画の改定にあたってはこれらの取組を取り上げてほしい。

神戸市ではレンタル電動アシスト付自転車を導入しており、現在 10 か所のステーションを設置している。姫路市でもこのような事例の活用を検討してほしい。

森林づくりについて、百年の森づくりを進めると、100 年間は CO2 を固定し、その後 100 年間は材として使える。トータルで 200 年間 CO2 を固定できるものであり、百年の森づくりについても議論してほしい。

クールシェアについては、兵庫県立人と自然の博物館でもたくさんの来館者があった。姫路市でも水族館などの施設を活用してクールシェアの取組を推進してほしい。

委員長：電気自動車の購入以外に、充電スタンドの設置にも補助金を出すなどインフラ整備も進めてほしい。市内の充電スタンドの数は把握できるのか。

事務局：一つ目の自動車の CO2 排出量の算定については、現行計画では、交通センサスのデータを反映した「市区町村別自動車交通 CO2 排出量推計データ提供システム」を使用しているが、現在同システムの交通センサスデータが更新されていないことから、市の自動車保有台数から推計する方法へ算出方法の変更を検討している。

委員：電気自動車や電動自転車の充電スタンドは市内にあるのか。

事務局：電気自動車の充電スタンドはあるが、電動自転車分はない。

委員長：電気自動車の購入以外に、充電スタンドの設置にも補助金を出すなどインフラ整備も進めてほしい。市内の充電スタンドの数は把握できるのか。

事務局：市では大手門駐車場に、民間では自動車販売店や大規模商業施設等に設置されている。設置数は把握していないが、インターネットやカーナビで検索できるようになっている。

電気自動車の充電スタンドの設置については、国の補助制度があり施設整備に要する費用の 1/2 の補助が出るため、補助制度を活用してインフラ整備が進んでいくものと思われる。

委員長：充電スタンドの情報提供を含め、本日いただいたご意見を踏まえて改定作業を進めてほしい。